

平成29年度

事務事業評価表 A（平成28年度の実績評価）

記入年月日  
平成 29 年 3 月 21 日

Table with columns: 事務事業名, 高齢者ふれあい給食サービス事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

Table with 2 columns: ①事務事業の概要（事務事業の全体像）, ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the program for elderly care and the assigned tasks.

（2）事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns: ①手段, ②対象, ③意図, ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes a multi-year data table for 27-31 years with metrics like 'number of events' and 'number of participants'.

（3）投入量（事業費）の推移

Table showing cost breakdown by source (National, Prefecture, Local, etc.) and personnel costs (staff, time, etc.) for 27-31 years.

Table comparing 28年度事業費実績 (2016 actuals) and 29年度事業費予算 (2017 budget) for 13 items, including a total row.

（4）当該年度の実施内容

Table with columns for 29年度, 30年度, and 31年度事業内容. Includes a note about entering content and a list of main activities.

事務事業名	高齢者ふれあい給食サービス事業	事務事業No.	20602000015	所属課	高齢福祉課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ひとり暮らし高齢者に健康指導や食事提供をすることにより健全な生活ができるよう合併以前から真壁地区で開催していた。 ひとり暮らし高齢者は増えているが、参加者は増えていない。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 岩瀬地区での同様の事業をどのように実施していくかが課題である。
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	ひとり暮らし高齢者等に対しての給食サービスや健康教室等による介護予防活動は、高齢者福祉サービスの充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	ひとり暮らし高齢者に対して市の施設での食事会や健康教室等と開催し、コミュニティの場を提供することは、介護予防と孤独感の解消につながり、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	事業の参加者が年々高齢化しており、事業に参加することが困難になってきている。新規の参加者や未実施の岩瀬地区高齢者が参加できるようにすることで成果向上の余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	ひとり暮らし高齢者にコミュニティの場を提供する事業が他にないため、この事業を廃止すると、健康の保持・孤独感の解消が図れなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	社会福祉協議会に委託し、公共施設を使い、運営にはボランティアの協力を依頼し、事業費の削減に努めている。今後も高齢化が進み参加者が増加すると予想されるため、削減は厳しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	実施場所が真壁福祉センターと大和公民館であり、対象とする地区が真壁・大和地区となっている。岩瀬地区では実施していないため、不均衡である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 真壁地区ではひとり暮らし高齢者のための交流、大和地区ではひとり暮らし高齢者の見守り事業を目的に開催しているが、方向性の違いを検討する必要があると感じ、今後の事業展開について関係者との協議が必要である。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 岩瀬地区での事業展開を検討していく必要がある。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---